



社会医療法人近森会

発行 ● 2011年4月25日

びるっば

5
Vol.298

www.chikamori.com 〒780-8522 高知市大川筋一丁目1-16 tel.088-822-5231 fax.088-872-3059 発行者●近森正幸/事務局●川添昇

■ 新・管理棟の完成

診療協力体制の大きな力に

社会医療法人近森会管理部長 川添 昇

大会議室



種しかできない仕事をきわめて質の高いサービス内容で分業と協業で行なっている。それぞれの間隙を埋めたり、潤滑油をさしたり、後押しをするのが管理部の役割だと思い定めてみんなでやってきた。きわめて高度な急性期病院を建設する5カ年計画の最初に建てられたのが管理棟であることは何と意義深いことかと思う。職員一丸となつての診療体制に今回大きな支援本部が出来たといっても過言ではない。

「戦いの勝敗の帰趨は兵站にある」。管理棟の完成はロジスティックス元年

3月11日からDMATに引続きJMAT合計4チームが東北で救護活動を行ってくれた。医師、看護師、管理部のスタッフがきっちり役割を分担し、協力をし合つて任務を遂行した。ある意味、究極の医療チームだと思う。

さて社会医療法人近森会の組織図の三本柱は、診療部と看護部と管理部であるが、管理部は前二部門を全面的にサポートさせていただくという「自負」に支えられてこれまでやってきた。今回の管理棟の完成によってスタッフ一同益々この思いを強くしている。

私が入社したのは今から35年前、1976年であったが、その当時の「事務所」は本館の地下室にあった。すごい労働環境の職場に入ったと愕然としたことを今でも思い出す。それから木造の建物に2回引越し、現理事長に引継がれてから初めてコンクリート造りの建物である前管理棟に移り、25年を経過して、この度新管理棟への引越しとなった次第である。

有名週刊誌に「家の履歴書」という長期連載ものがあるが、家の履歴が人生そのものならば、管理部事務所の履歴もまさにそれにふさわしい。理事長の現場への思いを具体化したのがこの建物に他ならないと思う。

医師は医師しかできない仕事を、看護、コメディカルはそれぞれの専門職



新・管理棟外観

である。これからもますます現場のスタッフを大事にして行きたいと心を引き締めている。



北山が一望できる職員食堂

こんなもん作って！



近森 正幸

9階建の新しい管理棟が完成した。どうしてこんな大きな建物を建てたのか、病院関係者であっても不思議に思われるかも知れない。ワンフロアを管理部の事務所とし、他に六つの会議室、魅力的な看護部や看護学生の受け入れスペース、図書室や健康管理センター、広いベランダを有する保育所、北山が一望できる職員食堂など、ゆったりとした空間が確保され、病院スタッフが精神的にも身体的にもリラックスできる、ゆとりを持って仕事をする事ができる空間となっている。

管理棟とはいっても、事務部門以外は、いわゆる人を育てるスペースと

なっていて、この建物の大きな特徴となっている。医療というのは生身の人間が行うものであり、疲れていたり、ギスギスしていたり、子育てに不安を持っていたりすれば、それがそのまま出てしまいかねない。まず医療に携わるスタッフが人間として成長できることが大事で、そのための環境整備が欠かせないことだと思う。

現在、急性期医療はDPCによる一日包括払いとなっており、いかに迅速確実に患者さんを治し、自宅に帰っていただくかが求められている。そのために、医師中心の時代から看護師やコメディカル、事務までを含めた病院のスタッフ全員で行うチーム医療の時代になってきている。そこで重要なことがマネジメントであり、それを実務面で支えているのが看護部や管理部だといえる。

それぞれの職種が医療に直接関わることで、患者さんにやさしい医療ができるようになった。近森の医療に対する姿勢を具現化したのが、この新しい管理棟だといえる。

理事長・ちかもり まさゆき

手根管症候群に対する 鏡視下手根管開放術(奥津法)

近森病院整形外科統括部長 衣笠 清人



手指のしびれ感を主訴とする疾患のひとつに手根管症候群というものがあります。これは手関節掌側にある手根管内で正中神経が圧迫されることによって発症し、ある程度以上の重症度になると手術治療が必要となります。

手術療法ではこの管の蓋である屈筋支帯(横手根靭帯)を切離しますが、以前はすべて手掌部にメスを入れ、直視下に行われていました。1986年に奥津らが世界で初めて関節鏡を用いた低侵襲術式を発表し、以後様々な鏡視下術式が報告されています。

私、衣笠は1997年に当時岡山大学助教授の橋詰博行先生(テレビのスーパードクターに出演されたのをご覧になった方もいるのでは?)に本法をご教授いただき、初症例を経験しました。局所麻酔科に行う外来手術で手首皮線の約2.5cm近位に加えられた1.5cmの横皮切以外の手術痕は残らず、それも数年後には見えなくなります。当院では以来ずっとこの奥津法を原則として続けておりますので、お悩みの方はご相談下さい。

大学5年生の時、日野原重明先生の講演をきいて、聖路加病院での研修を決意し、1976年から3年間お世話になりました。講演内容は、POS: problem-oriented system(問題解決型医療システム)についてでしたが、自分ではpatient-oriented system(患者指向型医療)と受け止め、従来の大学病院でのresearch-oriented system(研究指向型医療)になじめない感じをもっていたので、大きな魅力を感じました。

実際に働いてみると、ひとつひとつの命を大切に患者本位の姿勢が徹底していました。VIPが多かったせいかもしれませんが、みんながそうでない患者にも同じような気持ちで接していたように思います。私など“君の変わりはどこにでもいるけど患者の命は一つだけだよ”と言われたこともよくありました。

— 私の流儀 — 2 聖路加イズム



近森病院副院長
浜重 直久

もう一つは、研修医の自立心がたいへん高かったように思います。患者さんがあたと必ずproblem listを作成し、教科書や論文をあさったり上級医に質問したりして、未解決の問題点を残さないという意識が研修医全体に徹底していました。今ほど習うべき検査や治療手技が少なかったからできたのかもしれませんが、もう少し今の若い人達も積極性を示してほしいなと思っています。

その後、神戸大学、三木市民病院をへて、1982年から6年間高知医大老年病科で、小澤利男、土居義典両先生の下で、研修医の教育や病棟の管理などを比較的自由にまかせてもらい、自分自身にとってもたいへん勉強になりました。その間いつも意識していたのは、patinet-firstという聖路加イズムを少しでも伝えられたらという気持ちだったように思います。

管理部長の こだわりヘルシー美食 21

近森会管理部長 川添 昇

今年の桜は気がつく
と咲いていた。いつもの
年だとワクワクして咲く
のを待っていたのに。



スタッフが次々と東北
に向かってくれた。そ
して4月、大勢のスタッフが
新たに戦列に加わった。

明るく頑張るぞと気を入れ直した
ところで私事で恐縮だが「突発性難聴」
という病になってしまった。

近医は1週間から10日間位の入院
加療を要すとのご託言をされたが、敬
愛する内科のK井部長に相談すると、
点滴をしながら仕事も可という。結
局週末の3日間3回の点滴で聴力は戻
り、高知赤十字病院のやさしい耳鼻科
の先生は1週間飲み薬で様子を見ましょ
うとっていただいた。原因は過労とス
トレスということらしいが、本人には
全く思い当たるフシはない。でも加齢
によるいろんな「不全」は確実にやっ
てくる。

長々しい前説はともかく、今月は、
初鯉のオリーブオイルたたき



画・臨床栄養部科長 吉田 妃佐

〈材料〉

新鮮な鯉の皮付き腹身一節。
ネギ、新タマネギ、青じそ
オリーブオイル、塩、ポン酢、レモン

〈作る〉

フライパンにたっぷりのオリーブオイルで、ふり塩をした鯉をお好みで焼く。
まな板に取る。ポン酢で表面を洗い、手のひらで軽くたたく。

挿絵のようなあんばいで盛り付ける。

〈食べる〉

まだ土佐沖あたりを泳いでいる鯉は脂が乗っていないがモチモチしていて新鮮。それをオリーブオイルで焼目をつけてしまうのは、少し残酷だが、コクが出てすこぶる美味。

付け合わせの新タマネギのスライスとともに食すともう最高。さわやかな土佐の酒、淡麗辛口を錫のちろりでキンキンに冷やして飲むと加齢による不全感など素っ飛んでしまう。

5月の歳時記 水芭蕉

近森病院 HCU 看護師 井上典子

花言葉は「美しい思い出」「変わらぬ美しさ」。「尾瀬の花」の代名詞となっているが、尾瀬以外にも群生地は各地にある。

歌曲「夏の思い出」では「夏が来ると思い出す尾瀬の風景の一部」としてこの歌が歌いこまれている(=夏の花のイメージ)、自生地では春の雪解けに合わせて姿を現すので、春の花とも考えられる。皆様も美しい思い出を作りましょうね。



絵・
総務課広報担当
公文幸子





左から二人目が筆者

3月25日に21年度臨床研修医修了式が行われました。当院の初期研修医3人が2年間の研修を終え、元気に巣立っていきました。

毎年のことですが、研修が始まったころの初々しさ、研修途中の厳しい顔、笑顔、泣き顔、そして終了間際の自信に満ちた顔を思い出し、感無量でした。当院に残る者、新しい施設に行く者など選んだ道は違いますが、



吉本光広

鈴木美香

長富俊孝

適度なドキドキ感で

初期研修医 吉本 光広

2年前、初期研修が始まったものの分らないことばかりで、“ものすごく”ドキドキしながら毎日を過ごしていたことを覚えています。では、今はどうなのかといえば、ERの当直や日勤が始まる前は「疾患の見逃しをすることはないだろうか…」などと、“ものすごく”不安でドキドキしながら勤務を始めています。しかし、2年前に比べると少しは出来ることが増え、「成長していないわけではないのかな…」と思ったりもしています。これもひとえに、ご指導してくださった先生方、助けてくださったコメディカルの方々、事務の方々、診察させていただいた患者さんのおかげだと思っています。これからも技術や知識の習得を重ね、経験を積んでいくことで“適度な”ドキドキ感で医療に従事できるようになればと考えています。今後は高知赤十字病院の循環器科医として後期研修を始めることになりました。高知駅を南北に挟んですぐ近くの病院なので、今後も様々なことでお世話になると思います。これまで同様よろしくお願ひいたします。2年間本当にありがとうございました。

謙虚な気持ちを忘れずに

初期研修医 鈴木 美香

3月で初期研修を無事に終了することができました。アツと言う間の2年間でした。この間、いろいろな診療科をまわり、個性豊かな先生方と、頼りになるコメディカルスタッフの皆さんにたいへんお世話になりました。病院全体で育てていただいたと思っています。研修でお世話になった科にはそれぞれに魅力があり、私の優柔不断な性格も加わり、なかなか進むべき道を決めかねていましたが、3年目からも近森病院に残り、消化器内科での後期研修を行うこととなりました。初期研修中は長くても3カ月ごとのローテーションでしたが、4月からは内科の後期研修医として少し腰を据えて勉強できると思っています。

近森病院3年目となりましたが、内科医としてのスタートラインについたばかりで内心ドキドキしています。病棟を右往左往してい

初期臨床研修終了式によせて

研修管理委員会委員長／近森病院循環器科主任部長 川井和哉

が、それぞれが自分たちの未来を見つめ決めた道です。当院で培った力を元に頑張ってくれるものと信じています。

22年度から始まった高知大学とのたすきがけプログラムにより、当院にて1年目の研修を行った3人も、無事研修を修了しました。今春から高知大学での活躍を期待しています。

また、4月から新しく初期研修医が8人、後期研修医が4人、仲間に加わりました。当院は急性期病院・地域医療支援病院であり、救急疾患や一般の疾患を軽症から最重

症まで多く経験することができます。そして、当院ならではのチーム医療、コメディカルスタッフのフットワークの軽さと高い能力、急性期から在宅までのシームレスなケア、地域医療連携などを学ぶことは、医療人として今後の大きな財産になると確信しています。

当院を卒業した研修医の県内外での活躍は、当院研修の伝統を感じ、嬉しく励みになります。楽しく有意義な研修生活になるよう、病院をあげてお手伝いしたいと思ひます。

下さった全ての方に感謝！

周りの人たちに恵まれて

初期研修医 村岡 朋美

ついこの間、近森病院での研修生活が始まり、このひろっぱで挨拶したばかりですが、もう研修を終える感想を書いていることが不思議です。それほど短い期間しか過ごしていないにもかかわらず、近森での思い出は数々と浮かびます。Super resident or deathという気持ちで始めた研修生活でしたが、私はこの1年間毎日笑顔で過ごすことができました。研修内容の充実さもそうですが、楽しく仕事できたのは周りの人達に恵まれたおかげです。

向上心のある同期達に感化され仕事に励め、先生方には私たちの意見を柔軟に取り入れ指導していただきました。コメディカルスタッフの方達にも多く指導していただき、職場以外での活動も一緒にさせてもらったりと充実した日々でした。

就職時は片手で数える程しかいなかった知り合いですが、今では院内を歩いているとたくさんの方に声をかけていただけるようになりました。こんなにも多くのスタッフの方がいてもアットホームさを感じることができた近森が大好きです。

1年でもう去ってしまわなければならないことはほんとうに寂しいですが、近森で研修してきたことを私の自慢にし、次の研修に進みたいと思います！

石井改造5カ年計画

初期研修医 石井 洋介

1年とは思えない程濃密な日々を送らせて頂きました。感謝の気持ちを伝えたい人が多すぎて、5万字くらいスペースが必要になってしまうので、諦めます!!

研修を行うにあたり、最初の5年間で医師としての人生は決まるかな、特に最初の1年は基礎工事の段階でここが一番大切と思ひ、研修環境選択は必死で悩みました。多くの施設を見学、多くの人の意見を聞き、最終的に選んだのはまだ過労死説の残る近森病院でした。何でそうしたのか今では全く理解出来ませんが、最後は直感的に選んだような気がします。今ではその自分の直感を褒めてあげたいと思います。本当に充実した1年間を送らせて頂きました。

まだ臨床医としては何の力もなく、勉強させてもらえばかり、近森病院へ何の貢献もしていませんが、臨床力を身につけて近森病院に貢献出来る日がくるよう、頑張ろうと思っています。家は近くなので、いつでもコールして下さい(笑)。ありがとうございました!!

ることはと思いますが、変わらぬご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。皆さんの期待に少しでもこたえられるよう、これからも謙虚な気持ちを忘れず、一歩ずつステップアップしていきます。

近森会での研修を終えて

初期研修医 長富 俊孝

高知へ来て2年が経ち初期研修期間が終了しました。4年前、学生実習で近森病院に見学に來させていただいた際に、初めて食べた感動の高知の屋台餃子は、いまやすっかり僕のスタンダードになっています。2年の月日も過ぎてしまえば本当にあつという間で、なんとなく感慨深く感じます。

印象に残る患者さんや、常に周りの方々に支えられてきた事、そして救急医療の怖さの一片を忘れず、今後ともゆっくりにいこうと思います。2年間ありがとうございました。

熟慮の末、泌尿器科の後期研修医として今後とも近森病院の皆様にお世話になる事となりました。至らない点多々ありますが、これからもよろしくお願ひします。



竹村光広

山本亜希

村岡朋美

石井洋介

感謝！近森病院に育てられ

初期研修医 竹村 光広

【診断】 #1. 初期研修医 #2. 1児のパパ

【経過】 #1. ⇒多くの経験を積み、多少出来ることは増えていると思われる。

今後とも近森病院で培った医療人としての態度を基礎に、経験・知識を積み上げる必要があります。上級医に相談するときは相変わらず小声であり、もう少し声を張ること。緊張すると視野狭窄となるため、意識して深呼吸するよう指導。

#2. ⇒息子も1歳となり、成長する姿を自分と重ねている様子。最近なんとなく「お父さん」と呼ばれるらしい。

奥さんから研修とともに休日の家事・育児も手伝うようニードあり。

【今後の指針】 1歳の医師として貪欲にいろいろ吸収しよう。心身のセルフケアを忘れず、ワークライフバランスも気をつけて。育てて

乞！熱烈応援

目標を持って成長できる病棟に

救命病棟看護師長心得 森澤 恵



4月1日付で新設された救命病棟の師長心得の辞令をいただきました。自分に務まるのか不安ですが、できることを精一杯やっと思っています。課題は山積みですが、スタッフと共に考え、業務の改善に努めて参ります。先輩

師長をはじめ、各病棟の皆様にご協力をいただき、チーム医療、チームワークの大切さを実感しています。今後、スタッフ一人一人が目標を持ち、やりがいを感じながら、人として看護師として成長できる病棟にしていけたらと思っています。

頼れる存在に！！

近森病院手術室

看護師主任心得 立石 修久



就職して9年にして、身だけでは足りず骨まで引き締まる思いです。自分のやるべき事を自覚し、日々勉強、日々努力！上司や先輩のいい所を盗み、スタッフと共に成長して行きたい。手術室での8年、尊敬する上司、困った時に頼れる先輩、そして信頼できる同僚に恵まれました。同僚からは「優し過ぎ！」と怒られますが時に厳しく指導し、スタッフから頼られる存在となるよう努力し、手術部のレベルアップに貢献したいと思っています。

温故知新

臨床栄養部主任心得 佐藤 亮介



北海道から高知に居を移して、長い月日が過ぎました。当時の管理栄養士は近森会で9名でしたが、数年で20名を超す大所帯となりました。栄養サポートチーム加算をはじめとし、大きな変遷もありました。今後は近森病院の5か年計画に伴い更なる精進が必要とされます。過渡期ともいえるこの時期に主任心得の辞令を頂きました。先人が築いてくれたものを守り、新しい流れを滞らせることのないよう、潤滑剤としての役割と新人教育に努めたいと思います。



「笑顔の絶えない病棟」を目指し

近森リハビリテーション病院2階西病棟
看護師主任心得 中村 絵美

1日の3分の2を過ごす場所なので、少しでも楽しみながら働ければと思います。職員の移動や新人の増員など、病棟の雰囲気も変わっていくかと思いますが、「笑顔の絶えない病棟」を目指して日々精進していきたいと思っています。不束ですが今後とも宜しくお願いします。

看護管理の醍醐味を

近森リハビリテーション病院4階東病棟
看護師長心得 岡本 真由美



私はこの病院で回復期リハ看護の楽しさややりがいを知ることができました。管理についてはまだわからないことだらけですが、今の自分にできることは、スタッフとともに回復期リハ看護の楽しさややりがいを感じられる病棟づくりを目指していくことだと思っています。これからは管理についての学びも深め、看護管理の醍醐味を味わい、自分自身も楽しみながら働いていくことも必要だと思っています。今後ともご指導よろしくお願ひいたします。

目の前のことから解決して

近森病院ICU病棟

看護師主任心得 西森 公美



振り返ると、近森病院に就職して今までたくさん先輩や先生方に指導していただき、守られてここまでやってこられたと思います。今回分不相応な大役だと思うと同時に、「看護とは」「ICUとは」と改めて思い直しています。病院全体が大きく変動し始めているなか、そのスピードになかなかついていけないと感じることはありますが、目の前のことから解決していけたらと思います。そして町田師長を先頭に、「助け合いの精神」で頑張ります。

自分自身の成長と後輩育成に

近森リハビリテーション病院作業療法科
主任心得 光永 哲



山口県から近森会に来て10年目を迎えました。その頃は、作業療法士も40名程度でしたが、今年度は新人を迎え92名となりました。作業療法の「作業」とは、生活行為、仕事、遊びなど、人の生活行為全般を対象としており、何らかの障害をもちながらも活き活きとした生活を送れるように援助することです。区切りとなる今年主任の辞令をいただき、よりよい作業療法が提供できるように自身の成長と後輩育成に取り組んでいきます。



小学一年の息子と共に新たなスタートを

近森リハビリテーション病院4階西病棟
看護師主任心得 和田 絵美

日々仕事、家事、育児に追われる毎日で、今回の辞令は正直身に余る思いで一杯でした。辞令の前に梶原統括看護部長、寺山看護部長にはそれぞれに両立のアドバイスをいただき、今は少し足を踏み出せたところです。頂いて言葉を胸に、力不足のため不安も大きいですが、今年一年生になった息子たちと一緒に新たな一歩をスタートできたことを幸せに思い、まだまだ微力ですが、精一杯頑張らせていただきたいと思います。

助け合って前進

近森病院手術室

看護師主任心得 井上 みよ子



就職して、あっという間に10年の月日が流れてしまいました。私生活でも変化のあった10年ですが手術室も大きく変わりました。5Roomだった手術室は7Roomに増え、スタッフも増員、勤務体制も変わりました。新しい機器は次から次へとやってきて、ついでいくのに必死の毎日です。そのようななか、ずっとしりしりの肩の荷の重さを感じています。月平均26件の手術を、患者さんが安全に受けられるよう配慮を忘れずに、スタッフ全員で助け合って取り組んでいきたいと思っています。

「チームワーク」が良い病棟を

近森病院4階東病棟

看護師主任心得 今西 美嘉



4月で11年目を迎えます。急性期看護に携わり6年目と、長いようであっという間に過ぎた私にとって、主任を務まるのか自問自答していました。しかし、私一人の力では無理でも、師長はじめ4東病棟スタッフの力を借りてなんとかやっていけるのではないかと思います。多忙な業務を行うには、知識、経験も必要ですが、「チームワーク」が重要だと思っています。4月から加わったスタッフを含め全員の力が発揮できるよう、「チームワーク」が良い病棟を目指し日々の業務を行いたいです。

院外活動の啓発など

近森リハビリテーション病院作業療法科
主任心得 川崎 陽嗣



就職10年目になります。右も左も分らず、よく先輩に怒られていました。今となっては職種を問わず、いろいろな良き先輩に囲まれていたからこそ、ここまで来られたと痛感しています。就任の抱負としては作業療法科の卒後教育として教育体制の再構や勉強会・各学会への参加といった院外活動の啓発など作業療法士としての自己研鑽に対してリーダーシップがとれるように頑張っていきたいと思っています。また、信頼される主任として皆をサポートできるように励んで行きたいと思っています。

11'新入職員の皆さん

今年は150人以上もの新人が、近森会グループで新たなスタートを切られます。



古谷 敏昭

こたに としあき

①循環器科医師②高知市③高知大学医学部④1年間県外の病院で研修し、1年ぶりに近森病院へ戻ってきました。よろしくお願ひします。



齊藤 純子

さいとう じゅんこ

①消化器内科医師②東京都東村山市③高知大学医学部④5年間他県に在る間に高知駅が大きくなっていてびっくりです。趣味というか息抜きは、肩こりがひどいので、マッサージに行くことや映画を観ることです。



品原 正幸

しなはら まさゆき

①糖尿病内分泌代謝内科医師②高知県吾川郡いの町③高知大学医学部④趣味は読書（といえるほど読んでいませんが）です。最近では歴史関係の本を読むことが多いです。



中岡 大士

なかおか ひろし

①呼吸器内科医師②大阪府枚方市③THE UNIVERSITY OF LIBERPOOL（英国）④11年間住んだイギリスに特別な思い出があります。酒に酔うこととゴルフが好きです。高知での更なる成長と冒険を夢見ています。



細田 勇人

ほそだ はやと

①循環器内科医師②茨城県③東京医科大学④高知県にもともと馴染みのある人間ではありませんが、早く高知県に慣れて、高知の人たちに役立てればと思っています。



重村 友香

しげむら ゆか

①形成外科医師②愛知県一宮市③大阪医科大学④趣味は水泳です。高知県の四万十水泳マラソンに出場したいと毎年思いながらも、参加どころか、高知県に行くことすらできませんでした。念願の高知県ですので、今年は是非出場したいと思っています。



手嶋 英樹

てしま ひでき

①心臓血管外科医師②福岡県福岡市③久留米大学医学部④医師13年目、博多弁（バリバリ）と北京語を少々。実家がペットショップ（犬が中心）。ダイエット生涯目標。夢はユニーク医師。



葛西 雄介

かさい ゆうすけ

①整形外科医師②高知市③高知大学医学部④最近夜中にポテチを食う癖ができ、とうとうポテチを作る機械を買いました。興味あれば声をかけてください（勿論それ以外も）。



大塚 亮介

おおつか りょうすけ

①整形外科医師②岡山県③高知大学医学部④縁あって学生時代を過ごした場所で働けることになりました。4年振り2度目の高知を満喫したいと思います。



安保 佳苗

あぼ かなえ

①麻酔科医師②広島県尾道市③愛媛大学④いろいろな病院で得た経験を生かしていきたいと思っています。



市川 千智

いちかわ ちさと

①精神科医師②岐阜県③高知大学医学部④初期臨床研修で2年間お世話になりました。また近森病院で働けることを嬉しく思います。よろしくお願ひします。

〔初期研修医〕

徳重 秀将
とくしげ

ひでまさ

①初期臨床研修医
②鹿児島市③高知
大学医学部④大学
時代は登山・茶道・
合氣道をしていま
した。毎週水曜日
の近森茶道部に顔
を出せられたらいい
なと考えています。

山川 泰幸 やまかわ やすゆき

①初期臨床研修医②高知市③高知大学
医学部④最近趣味でゴルフを始めま
した。なかなか上手くなりませんが、
クラブのせいにするのはもうやめよう
と思います。体を動かす事は好きなの
で、続けていきたいです。

伊達 慶一 だて けいいち

①研修医②岡山県岡山市③高知大学医



後列/徳重秀将、山川泰幸、伊達慶一、勝又祥文、
前列/大川良洋、森岡汐里、梅下仁、田井龍太

学部医学科④近森病院はほんとに活気
があって、バリバリと力をつけていき
たいです。テニスを12年間がんばった根
性で盛り上げていきます！

勝又 祥文 かつまた よしふみ

①初期臨床研修医②大阪府③高知大学医学

〈次頁左上へ続く〉

8 No.298/5月号

部④大学時代は野球部でしたが、体重増加
にともない運動しなくなりました。近森病
院では、もりもり働いて運動可能な体型に
戻したいと思います。

大川 良洋 おおかわ よしひろ

①研修医②高岡郡佐川町③高知大学④大学
ではバレーボールをやっていました。近森
病院のバレーボール大会にも是非参加して
みたいです！！

森岡 汐里 もりおか しおり

①研修医②高知県③群馬大学医学部④6年
ぶりに高知に帰ってきました。同期に同性
の研修医がいないので少し寂しいです。見

かけたら声を掛けて頂けると嬉しいです。

梅下 仁 うめした じん

①研修医②高知県須崎市③高知大学④中・
高・大と卓球部に所属していました。部活
で培ったものを近森病院で発揮できればと
思っています。

田井 龍太 たい りゅうた

①初期臨床研修医②高知県高知市③高知大
学医学部医学科④はじめまして！！24才・
B型・やぎ座の新社会人です。趣味はテニ
ス・ビリヤード・バイクです。やってらっ
しゃる方、ぜひ声をかけて下さい。

10 No.298/5月号

お知らせ

第85回地域医療講演会
平成23年5月13日(金)
18:00～19:00
近森病院管理棟3階大会議室
「病気は回復過程である」フローレンス・
ナイチンゲール 看護覚え書より
ハイビジョン作品上映会

東日本大震災

DMAT、JMAT で災害支援活動に参加

災害対策委員会委員長
呼吸器外科部長 山本 彰



自衛隊の大型ジェット機に乗せ変え羽田へ搬送となりました。14日にはSCU

での活動を終了し無事帰高しました。

このたびの東日本大震災の直後に、近森病院はDMAT（災害派遣医療チーム）1チーム、医療支援としてJMAT（日本医師会災害医療チーム）3チームを派遣しました。DMATは大規模災害や事故などの急性期活動の機動性を持つ、専門的訓練を受けた医療チームで、今回は当日17時30分に、医師2名、看護師1名、調整員2名がドクターカーに同乗して出発しました。

被災地の医療現場では対応困難な多くの重症患者が出ます。このような傷病者を治療可能な被災地域外の医療機関へ空路等で搬送し、治療を継続させます。DMATチームは、傷病者を広域搬送拠点（空港など）に集め、自衛隊機等で搬送可能なように症状を安定化させ、搬送順位を決める臨時医療施設（SCU）の確立と医療支援を行いました。指示のあった福島空港へ翌日の11時過ぎに到着し、SCUの統括DMATチームとして活動を開始しました。搬送患者は石巻赤十字病院からの患者3名で、

今回の震災は地震と大津波と原発事故が重なった災害で、死者、行方不明者は2万人を超え、避難者が一時は40万人にも達したといわれています。日本医師会から医療支援とJMATとして3月22日に出発、宮城県石巻市に向いました。石巻医療圏で唯一医療機能が温存された石巻赤十字病院の指揮下で避難所の巡回診療と病院支援（中等症エリアの当直勤務など）を行いました。当時は日本赤十字救護班など70～40チームが活動している状況でした。

巡回医療チームは、一時は石巻市だけでも200カ所を超えていた避難所を各々訪問診療しました。同時に被害の大きかった行政機能の代わりに訪問した避難所の避難者数や衛生状況なども調査し、保健活動の一端も担いました。次第に広範な医療圏を14のエリアに整理し、エリア毎に医療を提供できるようになり、日赤病院一般外来の再開とともに、4月4日に活動を終了しました。

当院のJMATが活動した湊地区は特に被害が甚大で、ほとんどの家屋が浸

水、損壊し、自宅居住が困難で、なお数カ月以上は避難所生活を余儀なくされるだろう状況でした。行政機能の回復とともに、今後もいろいろな形での支援の必要があると思われます。

当院では4月末に第二分院から高知県の「心のケアチーム」の一員として被災現地での支援に入る予定です。

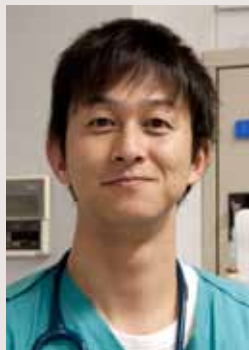
リレーエッセイ

被災地での生活

近森病院 ER 看護師
榎尾 幸聖

近森病院に就職して早4年が経ちました。趣味であるサーフィンから上がってくると病院から着信が数件（病院からの電話は良からぬ電話がほとんど）。病院に電話すると「明日から救護第一班として宮城に行きたい。飛行機の手配は出来てます。どうする」と。よく状況を把握できないまま「は、はい～」突然のことでこう答えるのが精一杯。その後少しずつ実感がわき、責任感と使命感を強く感じました。

翌日羽田まで飛行機で、それからは近森救急車で宮城に陸路出発。近づくにつれ高速道路は凸凹、ガソリンは枯渇し売切れ完売の表示ばかり。宮城に入り最後のパーキングエリアに立ち寄ると水が出ず、トイレから溢れ出した便が山積みになっている。この瞬間に被災地という別世界へきていることを理解しました。



寝泊りする石巻赤十字病院でオリエンテーションを受け、寝る場所である廊下に案内されました。固い廊下で寝袋を敷いたものの、明かりは消えることなく、人が歩くたびに軽くほこりを巻き上げる廊下で寝泊り生活が続く。ご飯はカップラーメンが主食、副食は缶詰。しかし被災者には電気も無く、いつまで続くか分らない過酷な避難所で、あきらめずに必死に生活していました。

今回の救護を通して災害時の対処やERの役割を学び、人と人の繋がり、絆というものの重大さを痛いほど感じました。被災者の健康と1日も早い被災地の復興を心よりお祈りします。



●お日様が全方位から降り注ぎ、自然光をいっぱい受けて、ほっこり温かい、我が家のようにつろぎの空間をつくっています。まるで讚美歌のメロディーでも聴こえてきそうな待合室で、診療の合い間に記念撮影

院長：大川真理(まこと)
●名前の由来はいくつかあり、その一つは「聖書」から。昭和46年8月27日、高知県出身。趣味：ぼかぼか温泉

●患者さんとの対話を大切に、何でも気軽に相談できるかかりつけ医として内科一般の診療を行なうとともに、専門である心臓病の診療、そして高齢者の全人的ケアに積極的に取り組み、地域の方々の暮らしを支えるために力を尽くしたいと考えております。



診療時間	月	火	水	木	金	土
9時~13時	●	●	●	●	●	●
15時~18時	●	●	●			● 14時~16時

図書室便り (2011年3月受入分)

- ・ミス・事故をなくす医療現場の5S一もの5Sから業務の5Sまで / 高原昭男 (他著)
- ・だから訪問看護はやめられない / 訪問看護の魅力、全部教えちゃいます! / 宮崎和加子 (編集)
- ・在宅での看取りのケア / 家族支援を中心に / 宮崎和加子 (編集)
- ・介護保険・医療保険 / 訪問看護業務の手引平成22年4月版 / 社会保険研究所 (編集)
- ・診療点数早見表 [医科] 2010年4月診療報酬改定準拠 2010年4月版 / 医学通信社 (編集)
- ・第41回日本看護学会論文集 / 看護教育・成人看護II / 日本看護協会看護研修学校 (編集)
- 《寄贈本》
- ・画像検査診断用語事典サイン・画像所見・症候群・検査用語 / 吉田祥二 (他監修)
- ・今日の治療指針 / 私はこう治療している Vol.51/2009 / 山口徹 (他総編集)
- ・鬼手仏心~21世紀の医療・福祉のリーダーシップ論 / 山田實紘
- 《別冊・増刊号》
- ・別冊医学のあゆみ / 気管支喘息 Update / 玉置淳 (編集)
- ・別冊医学のあゆみ / インクレチンのすべて一瞬β細胞研究からあらたな糖尿病治療へ / 稲垣暢也 (編集)
- ・別冊NHK きょうの健康 / 動脈硬化を防ぐ! かんたん健康料理あぶらも塩もおいしく減らす / 森野真由美 (監修・料理)
- ・老年精神医学雑誌 Vol.22 増刊号 I アルツハイマー型認知症の諸問題を再考する / 斎藤正彦 (他編集)
- ・臨床麻酔 35 巻臨時増刊号臨床麻酔誌上セミナー / 11 / 鈴木利保 (他著)
- ・関節外科基礎と臨床 Vol.30/4 増刊号 研修医が知っておきたいスポーツ整形外科入門 / 別府諸兄 (編集)
- 《視聴覚資料》
- ・山内豊明教授のフィジカルアセスメント 1 巻総論・問診・視診のポイント、2 巻触診・打診・聴診のポイント、3 巻呼吸器のアセスメントその1、4 巻呼吸器のアセスメントその2 / 山内豊明 (監修・指導)
- ・Expert Nurse 2011年4月号特別付録 CD-ROM 新ガイドライン準拠! 動画でわかる心肺蘇生 / 三上剛人 (監修)

2011年3月の診療数

近森会グループ	
外来患者数	19,379人
新入院患者数	897人
退院患者数	899人
近森病院	
平均在院日数	13.82日
地域医療支援病院紹介率	89.00%
救急車搬入件数	451件
うち入院件数	244件
手術件数	435件
うち手術室実施	289件
→うち全身麻酔件数	178件

企画情報室

●平成23年3月度県外出張件数 47件 延べ人数 78人

編集室通信

先日、子供ミュージカル劇団高知リトルプレイヤーズシアターの公演を見させていただきました。はじける笑顔と元気っぱいのダンス、歌、演技!! 千秋楽の劇団卒業式では、高校3年生のしっかりとした感謝の挨拶に、会場全体が感動の涙に包まれた。大震災による悲しいニュースが続く中、未来に向う子ども達の明るい笑顔とパワーがみんなの心に希望を与え続けてくれている、そう感じた。(リンダ)